

KSK 湘南ふくしネットワーク オンブズマン

SNET 広報第15号



編集責任者 : NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン 高山直樹
事務所 : 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町 13-48 ワラシナビル5階
電話・FAX : 0467-85-6660 , 直通電話 : 090 4937 4904 定価 100 円
ホームページ : <http://www.npo-snet.com> eメール : info@npo-snet.com

茅ヶ崎市との市民提案型協働推進事業「成年後見支援センター」設立

特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオンブズマン
理事長 高山 直樹

湘南ふくしネットワーク(以下、Sネットという)は、1997年5月に発足してから10年が経ちました。この間、多くの方々のご支援を賜りましたことを感謝申し上げます。

この10年間は、介護保険制度、成年後見制度、支援費制度、障害者自立支援法など本当に多くの制度や施策が打ち出され、大きな変化の時期でした。そのなかでSネットが、堅持してきたことは、地域にこだわり、市民が主体の権利擁護活動を展開することでした。

これまでの活動のなかで、多くのことを利用者から教えられました。特に認知症、知的障害、あるいは精神障害により、判断力が不十分な人たちが、主体的かつ一市民として生活していくことを支える必要があるということです。具体的には、自己決定を支援すること、生活の中で起こるさまざまなトラブルから守ること、その人らしい生活を実現するための財産管理を行うことなどです。そして、このような人たちにこそ、徹底的にその人の立場に立つ成年後見制度の利用が必要であると確信しました。

しかしながら、市町村、地域包括支援センター、社会福祉協議会などでさまざまな相談が行われていますが、成年後見制度が必要であるにもかかわらず、制度利用までには至っていない事例が多くあることもわかりました。そこでまず市民にこの制度について広く周知し、成年後見制度利用の相談・支援を行う必要があり、親族等、既に後見人を受任している人たちへの相談・支援を行う必要があることがわかりました。さらには将来、市民が第三者後見人として活動していく必要性も見えてきました。

そこで、成年後見制度だけではまかないきれない「隙間」を埋める支援や、成年後見制度の利用までに至らない人たちへの支援を積極的に行っていくことも視野に入れた「成年後見支援センター」を企画しました。そして昨年度、茅ヶ崎市の市民提案型協働推進事業に応募し、協働推進事業の団体の一つとして認められました。この4月から茅ヶ崎市高齢福祉課および障害福祉課及び地域包括支援センター等との協働で「成年後見支援センター」を開設することになりました。

この「成年後見支援センター」は、茅ヶ崎市における権利擁護のシステムの中に位置づけられてこそ、有効に機能すると思われます。茅ヶ崎市行政とSネットとの協働関係のなかで、他の関係諸機関、団体、市民との連携を図っていくことが必要となります。今後、定期的に、地域包括支援センター、弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会福祉士会等と連携を深めていくための協議会も立ち上がります。

これまでの権利擁護実践を踏まえ、法律、福祉、教育の専門性を活かしつつ、この「成年後見支援センター」を、茅ヶ崎市との協働事業としてネットワークを拡げ、深め、多くの市民参画を促進したいと思います。そして誰もが安心して、自分らしく生きることのできる茅ヶ崎市を創っていく所存であります。

ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



オンブズマン活動の今 . . .「えいむ」の当事者活動を拝見して . . .

「本当ですか？」15～6人のお母さんたちは一斉に信じられないといった顔で私たちオンブズマンの顔を見た。お母さんたち（お一人お父さん）に、一ヶ月前に開かれた利用者の自治会の様子をお話した時のことである。その日は、2度目の家族会への参加であった。

ここ「えいむ」は逗子市の東寄り、窓からは上の方に横横道路、下には横須賀線が見える。社会福祉法人「湘南の凧」の施設の一つである「えいむ」は、「目指す、志す」や「目的、意図」などの意味を持つ「aim」に由来している。障害よりも利用者一人ひとりの「力、強み」に着目し、引き出し伸ばしていくエンパワメントの視点に立ち、支援を行っている。現在利用者の平均年齢32才、男性のみ。

自治会の日、施設を訪問した時にはもう始まっていた。いつも皆が遊ぶ広い部屋に椅子を並べてそれぞれに座っていた。黒板には「9月 はれぞら会」1. 来月の予定、2. 売上報告、3. 旅行の感想、4. 健康診断について、5. 赤い羽根の共同募金について、6. 流しそばについて、7. 言いたい放題コーナー、8. 誕生日の発表、9. その他 . . . など、利用者の方の字で書かれていた。今日のテーマは9つもある。

「はれぞら委員」が中心になって会を進めている（前日に委員会を開いて会の進行の相談をするとのこと）。発言する人は手を上げて、立って話す。

5の共同募金では、「逗子駅の前で募金をしますが行きたい人はいますか?」「ハイ、ハイ . . .」と5人決まり、黒板に名前を書いていく。（自分の名前が書かれるか、しっかり監視です）6の流しそばのところでは、飲み物をめぐる議論で、「麦茶を用意する」と言う職員に対し、皆で意見を言って「ジュースを買う」を認めさせ、「それでは次にいきます」と、国会よりもスムーズに進行していく。話し言葉を持たない方も手を上げて、自分なりの表現で意思表示をされている。中にはジッとしていられず歩き回っている人も自分に必要な部分で参加している。大勢の人が苦手な部屋に入れない人は不参加を保障され（無理やり参加させるのではなく）ているという。職員は、そばにいて、進行には口も手も出さず、意思表示の弱い利用者のフォローを心がけているように見えた。

利用者の人たちは、自分が作業をしているところを親に見られることをとても嫌がるそうだ。そういえば自分も今まで働いているところを親に見せたことはない。恥ずかしいということもあるが、彼らのそういう“嫌だ”というのなんとなく分かる。そんな事でお母さんたちは作業中の彼らを見たことはないし、ましてや会議をしているなんて”とても信じられない”と話していた。

はじめて「えいむ」の作業場に入った時、各自の工程表が、それぞれの場所に貼ってあるのが目に留まった。作業・コーヒー・作業・パズル . . . など、カードを順繰りに取って自分で自分の工程を管理しているのだ。以前にスウェーデンで見たシステムとそっくりで素晴らしいなと思った。

このような素晴らしいことをお母さんたちは少しも知らなかったのだ。自治会の様子などビデオにとって見ていただいたらどうかと、職員に話したこともある。お母さんたちには「もっとお子さんの力を認めてあげてください」とお願いをした。

いつも「えいむ」に来ると、皆さんに笑顔で迎えられ、中にはハグしてくれる人もいる（女性オンブズマンはハグされそうになって「握手にしてください」と言っているが）。私にとってここは、ソーシャルワーカーとしてのスタートのような気がしている。作業中の彼らと話したり、相談室で利用者同士のトラブルの相談を受けたり、家族会のお母さんの中には入れないお父さんの悩みを聞いたり、協力員には報告とともにアドバイスをして勇気づけたりして、これでオンブズマンの役割をしているのか、いつも自問自答している。

（「えいむ」担当：角田郁夫）



権利擁護のことは 『権利侵害』 パート2

美しくなりたい 由美さんの場合

「オンブズマンさん今日は」

いつもにこやかな笑顔で私たちを迎えてくれる由美さん。でも、その日は何か元気がありません。ご自慢のピンクのルージュ<注1>もぬっていません。

「由美さん、何かありましたか」とそれとなく尋ねました。すると、大粒の涙をこぼして「お母さんに、買ってきた化粧品を取り上げられてしまったの」<注2>。

由美さんは、仕事がいっぱいできるので、作業所では仲間たちからお姉さんのように慕われ、工賃も一番たくさんもらっています。その工賃をお小遣いにして大好きな化粧品を買っているのだそうです。

先日の日曜日に、一人でお気に入りのショップに行って口紅だけではなく、アイシャドーやマスカラ<注3>など色々買ってきて楽しく化粧をしていました。そこへお母さん、「みっともないからやめなさい」と、取り上げてしまったのだそうです。

オンブズマンはその日の施設長・協力員との話し合いでその話を出しました。そして、家族の方に由美さんが悲しんでいることを伝えて欲しいとお願いをしました。

数日後、協力員から連絡がありました。お母さんはこんな風に説明されました。

娘は年頃だし、お化粧をさせたい。でも、似合わない色の口紅だったり、化粧の仕方が下手。輪郭からはみ出してしまって、とてもだらしく見えるので、ほっておけなかった。素顔の方がよっぽど若々しくきれいだから、取り上げてしまったのだと。

「それでは仕方ありませんね」と相槌をうつことはできません。協力員も釈然としないようです。そこで一策を。お化粧が上手になるためには練習が必要です！

「いっそのこと、〇〇化粧品からきてもらって、お化粧を教えてもらっては？」

その施設では特別講座が開かれました。化粧品メーカーもビジネスチャンス、受講生は美しくなりたい、絶対になれる。女性全員が受講されました。

しばらくして、いつものにこやかな由美さんに出会うことができました。それまであまりおしゃべりなど気にしない様子だった女性職員の皆さんも、ちょっとお化粧をして…。

<注1>口紅のこと。男性読者のための注釈。

<注2>涙ながらのご相談は少なくありません。女性オンブズマンが涙を流すこともしばしばです。

<注3>目の周囲にアクセントをつけるための色づけ、眉を豊かに見せるための化粧品。男性読者のための注釈。

いまでこそ、養護学校の卒業時期にお化粧講座という話も耳にすることがありますが、こういう積極性は大切ですね。男性だってお化粧講座は必要では？ ついでに、着こなし講座だって。もっと、もっと美しくなりたい、そんな気持ちを実現させたいと思いませんか。髪を染めますか、それとも自然体ですか？

私たちオンブズマンは、施設職員の皆さん、家族の皆さんと一緒に利用者の方の気持ちを大切に、実現したいと願っています。

(プライバシーに配慮し、事実と相違する箇所があります。この話を読んで感じられたこと、ご意見などありましたら、ぜひお寄せください。賛成でも反対でも、遠慮なく。郵便、メール、電話、なんでもOKです。ご了解をいただかないでその内容を勝手に公表することはありません。ご安心ください。)

<身近な「権利侵害」を考えてみました>



事務所を移転しました

特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオンブズマンは、「成年後見支援センター」の発足を機に、4月1日、事務所を下記に移転いたしました。

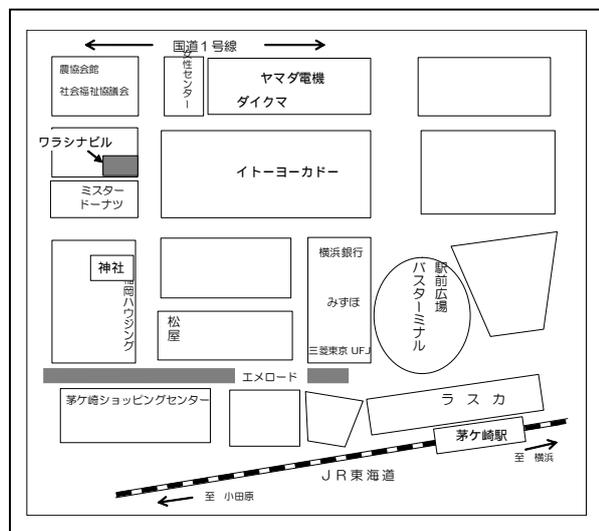
茅ヶ崎駅から徒歩5分。お近くへおいでの際は、遠慮なくお立ち寄りください。

オンブズマンが訪問している施設を利用されている皆さま、職員の皆さま、ご家族の皆さまはもとより、ちょっとでもご関心をもたれた皆さまも、気軽に立ち寄り、おしゃべりしていただける、そんな事務所になりたいとおもいます。

また、電話やファックス、会報、連絡文書などお送りいただく際の宛先を、下記にご変更くださいますようお願い申し上げます。

住所：〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町 13-48 ワラシナビル 5 階

電話 & Fax：0467-85-6660



オンブズマン事務所 開所時間

月・水・金曜日 10時～17時
(成年後見支援センター 相談・支援員)

火曜日・木曜日 13時～16時
(Sネット法人 事務局員)

賛助会員入会のお願い

私たち「湘南ふくしネットワークオンブズマン」は、ノーマライゼーション社会の実現を目指し、権利擁護活動を行っています。賛助会員としてご入会いただき、私たちの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

賛助会員会費 ・地域のみなさま 年額 一口 1,000円 (一口以上)
・法人のみなさま 年額 一口 5,000円 (一口以上)

ご入会の方法：郵便振替書により下記口座へ会費をお振込みください

郵便振替口座番号 00210-9-75496

口座名義人 NPO法人 Sネットオンブズマン